

## 令和8年度 調布市立染地小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
あたたかく(自分も人も大切に子ども)たくましく(自分で考えて行動する子ども)まえむきに(自分からチャレンジする子ども) 生きる子どもの育成	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像、教員像、児童像	
みんなでつくる みんなが大好き 染地小学校 (児童・教職員・保護者・地域の一人一人が主役 みんなで力を合わせて大好きな母校をつくる)	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	・小規模校の強みとして「すべての児童をよく知り関わるができる」ことを全教職員で大切にしてきた。しかし、困っている児童や保護者に寄り添える学校として、まだまだ「成長の伸びしろ」があると考え。また、チーム担任制導入 2 年目となり、すべての児童を全教職員で多面的・多角的に指導・支援を行う体制を充実させていく。みんな(児童・教職員・保護者・地域の一人一人)が、学校をつくっていくという思いや意識をもち、どのようにして力を合わせて行動するかが今後の課題である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	○文章を正しく読んだり、正しく書いたりする力  ○目的を意識して伝え合う内容を検討する力。	○主語と述語に着目して読むこと、構成を考えながら書くこと、自分の思いや考えが相手に伝わるよう音読や朗読することを日常的に指導する。  ○目的や意図に応じて文章構成を考えたり、相手に応じて言葉を選んだりすることができるように指導する。
社会	○資料の活用や調べ学習を通して情報を適切にまとめる力  ○社会的事象から学習課題を見だし、解決への見通しをもったり、学習問題を追究・解決したりする力	○資料から読み取った事実や調べたことを基に考える場面を通して指導する。  ○学習課題に対して、必要な情報を選択・収集したり、活用したりするなど、課題解決が深まるように学習を展開する。自分の考えをまとめることを通して、論理的に表現する力を伸ばしていく。
算数	○数量や図形についての概念や性質を理解し、基礎的・基本的な知識・技能を習得する力  ○見通しをもち、筋道立てて考察したり、数学的な表現を用いて、自分の考えを分かりやすく表現したりする力	○基礎・基本となる知識については、一人一台学習用端末を活用して反復練習を行うことで、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るようにする。  ○既習事項につながるように導入や板書を工夫する。児童が説明したり、友達の考えを聞いたりする機会を多く設定する。
理科	○自然の事物・現象についての性質や規則性などの理解、観察や実験などに関する基本的な技能  ○友達と関わりながら問題解決し、学んだことを学習や生活に生かす力	○児童が主体的に考える活動を取り入れたり、児童が自ら課題を設定し、予想を立てて確かめたりするなどして、観察・実験の力が身に付くように指導する。  ○ペアやグループで役割を分担して問題(実験や観察・記録)を解決する協働的な学びを行う。
生活	○活動や体験を通して、自分、身近な人々、社会、自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く力、生活上必要な習慣や技能を身に付ける力  ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとする態度	○活動を通して自然に目を向けさせ、見る、聞く、触れる、探すなどによって自分との関わりを深めさせ、知的好奇心や探求心などを育む。また、人との関わりの中で、ルールやマナーなど生活上必要な習慣や技能が身に付くようにする。  ○身近な人々に対する感謝や自然を大切にする気持ちがもてるように他教科との関連を意識した活動を行う。
音楽	○リズムや読譜など音楽に対する基本的な知識や技能  ○自分や友達の演奏のよさを認め、主体的に音楽活動をしようとする態度	○ペア学習によって互いに教え合う活動を取り入れる。フィッシャーノートなどの視覚的に音名を弁別しやすい楽譜の作成を心がける。  ○友達と関わり合い、楽しみながら最後までやり抜く力を育む。

<p>図画工作</p>	<p>○すすんで創造的につくったり、工夫したりして表現する力</p> <p>○安全に気を付け、材料や道具・用具を適切に扱いながら制作する技能</p>	<p>○児童の興味を引くような題材を選んだり、道具や材料に興味をもたせたりしながら活動全体に対するの関心や意欲を高められるようにする。</p> <p>○危ない道具も安全に便利に活用できる技能を身に付けさせる。使い方の手順や正しい持ち方などは掲示物を活用し、活動の前には必ず確認しながら使うようにする。</p>
<p>家庭</p>	<p>○日常生活に必要な基礎的な技能</p> <p>○家族の一員として生活をよりよくしようとする工夫する実践的な態度</p>	<p>○実習活動では、グループや二人組など友達との協力や教え合いを取り入れるとともに、一人一台モバイル端末を活用して丁寧に個別指導を続ける。</p> <p>○学習を通して身に付けた技能を生活の中で十分に生かせるように、家庭での役割を通して、実践力を高めるようにする。</p>
<p>体育</p>	<p>○各領域の運動の行い方や身近な生活における健康・安全についての理解</p> <p>○技能の習熟に関わらず、お互いの違いを認め合い、学び合うことができるコミュニケーション力</p>	<p>○友達同士で動きを見合ったり、一人一台端末を活用して動画や写真で自分の動きを客観的に振り返ったりしながら学び方を工夫して、体の動きを高める。</p> <p>○児童の動きの質だけでなく態度面など様々なよさを取り上げて全体で共有する。</p>
<p>外国語</p>	<p>○なじみのある表現を使って、友達に質問したり答えたりするコミュニケーション能力</p> <p>○主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度</p>	<p>○「いつ、どこで、誰と」等状況に応じて、児童が自分の考えや気持ちを伝え合えるように ALT とのやり取りを示し、友達と繰り返し行わせる。</p> <p>○ゲームやアクティビティなどを多く取り入れ、友達やALTと主体的に話したり、聞いたりする活動を設定する。</p>
<p>道徳科</p>	<p>○物事を多面的・多角的に考え、よりよく生きようとする力</p> <p>○自分も友達も大切にしながら自信をもって行動しようとする態度</p>	<p>○二項対立の物事や多様な価値観と接するように教材や発問を工夫した授業を行う。</p> <p>○児童が自信をもつことができるよう、友達と交流したり互いに認め合ったりする活動を積極的に取り入れる。</p>
<p>外国語活動</p>	<p>○簡単な語句や表現を使って、コミュニケーションする力</p>	<p>○外国語を使う場面がイメージできるように、イラストや具体物を用いた活動を多く取り入れる。</p> <p>○ゲームやアクティビティを多く取り入れて、外国語に慣れ親しむ機会を設ける。</p>